

## 10. なかよしごはん

記録：川野優月

場 所：はやみずさんの台所（天理教春港分教会内）

（名古屋市熱田区六番二丁目7番6号 子ども食堂「なかよしごはん」）

電 話：052-651-0924、FAX：052-651-0968

対 象：幼児～中学生（※幼児はかならず兄弟か大人といっしょにね）

参加費：2歳以下無料、未就学児・子ども200円、小学生から（大人含）300円

\*完全予約制（申し込み締め切りは当日の15時まで）食事の必要ないお子さんは  
申込みの時、教えてください。

代表者：速水治美

初 回：2016年4月17日（日）17：30～19：00 毎月7、17、27日

インタビュー日時：2016年10月19日（水）10：00～11：30

インタビュー者：井上実、川野優月

「仕事が遅くて子どもだけの夕食になってしまう。」

「体調が悪くて家の事ができない。」

仕事、家事、子育てのめまぐるしい毎日を頑張っている

お父さん、お母さんの少しの応援と

大切な子供達のホッとになりたくて

おばちゃん達が栄養満点のご飯を作って、

みんなが来るのを待っています。

子ども食堂「なかよしごはん」は子どもだけでも入れます。

保護者の方も、どうぞお越しください。

### ◎寄付受付先

・寄付金（一口1000円より）

・振込先

○ゆうちょ銀行から

・記号：12070

・番号：5329191

・口座名：子ども食堂なかよしごはん

○他の金融機関から

・ゆうちょ銀行

・支店名：二〇八（ニゼロハチ）

・店番：208

・預金種目：普通預金

・口座番号：0532919

・口座名：子ども食堂なかよしごはん

### ◎きっかけ

子ども食堂のことを新聞で知り、自分にもできそうだと思う、子ども食堂について調べ始めた。調べていくうちに、こども食堂を開催しようとする人が抱える 1 番の問題が会場と設備が無いことであると分かった。自分はみんなが悩んでいる会場、設備の問題がクリアできているのに、やらないのはいけないと思った。少しでも時代の要望にお役にたてるのかと思い、2016年3月に子ども食堂をやると決め、4月17日にスタートした。

### ◎お店

天理教春港分教会内で毎月7のつく日(7, 17, 27)に開催している。月1回の開催で支援になるのか疑問に思い、月3回の開催を決める。なかよしごはんは、完全予約制で開催日の15時までに電話で申し込みをする必要がある。常連さんはショートメールでの申し込みも可。

### ◎ボランティア

ボランティアの人は15:00から集まって準備を開始し、片付け作業などすべてが終わるのは20時ごろである。ボランティアは15人くらいいて、シフト制にしている。15:00~17:00は40/50代のパートさんが多く、16:30~ラストまでは60/70代の年輩の方が多い。曜日によっては若い世代の人も最後までいてくれるのでありがたい。ボランティアは紹介制で、知人の知人までの受け入れにしており、紹介のない人の受け入れはしていない。今後もボランティアは紹介制から変更する予定はない。

### ◎資金

社会福祉協会などからの開設資金や助成金はもらっていない。自分たちで一から子ども食堂を始める人は開設資金などがもらえないため、寄付金を集めるか資材を出すしかないので、資材や寄付金はすべて自分で集めた。こども食堂をスタートする前に、友人にチラシを送り、3,4万円ほど集め、そのお金でおぼんやエプロンなどを購入した。

### ◎食材、献立

食材の寄付は、子ども食堂を始めると自然と来た。お米は協会関係の人から寄付があり、お米を買わずに済んでいる。野菜や果物はお供えしたおさがりを使っている(協会としての寄付)。ネットをみて寄付をしたいと連絡をくれる人もいる。また、中日本フードから2回食材を提供していただいている(中日本フードは企業として親会社から地域貢献の実績をあげるように言われているため提供してくれる)。食材を寄付してくれる人がいるので、子ども食堂は成りたっており、300円で食事を提供することができている。

食事に時間をかけられない家庭にほっとする時間を提供したい、家族でゆっくりご飯を食べる時間を設けてほしいと考えているので、なるべく昔ながらの家庭の味を提供したい。化学調味料を使わずに天然だしを使うこと、熱いつゆ、あたたかい主菜、冷凍食品を利用しないことにこだわっている。いただいた食材を使った献立を考え、いただいた食材を優先して使うようにしている。おかわりもお持ち帰りも自由である。

### ◎来店者

初めは協会のつながりで参加者を呼びかけた。参加者は入れ替わりが激しく、ほぼ毎回参加してくれる母子/父子家庭が3軒ほどある。参加者は日によって多かったり少なかったりとバラバラである。今までで一番多い参加人数は47人、少ない参加人数は6人である。曜日によって参加者の数にどれくらいの違いがあるか確認するために、1年間は参加人数の記録をしている。小さい子連れの参加者や、家族でくる人が多く、ある父子家庭の家ではなるべく仕事の休みを7のつく日にして親子で参加してくれている。実際は、貧困の人はあまり来ていない。孤食の子に呼びかけをするが、断られることもある。

### ◎宣伝

5月にホームページを開設し、主な宣伝方法として活用している。児童館/学童に貧困対策も考えたチラシを置いて宣伝をしたり、地域の行事の際に呼びかけを行ったりしている。行政や社会福祉協会とのつながりがあると活動にプラスになることが多く、子ども未来化の人が来てくれたり、無料学習塾につなげてくれたりする。

### ◎課題、悩み

母子、父子家庭が来てくれるためにはどうしたらいいのか。貧困家庭の子に来てほしいが無理に招待はできないし、子どもの貧困についてプライバシーの問題から誰も教えてくれないので、貧困の事実はわからない。子ども食堂に参加する子どもがいじめの対象にならないような注意が必要である。本当の意味での支援を考えたときに次の段階に行くために何をすべきか。何かしなくちゃいけないのかな。と思うが、時間、体力、金銭的に余裕がないため変えることは難しいので、変えるのではなく現状のままそれぞれのニーズに応じた活動でいいのか悩んでいる。

### ◎想い

子ども食堂に来ている人は貧しいからだ。というイメージが世間に広がると、余計に貧困の方は来ないと考える。なので、「敷居は低く、対象は緩く」を目標にしている。何が貧困かはわからないが、共働きなどで食に時間をかけることのできない家庭のために何かをしたいと思い、食の貧困を1つのテーマに活動している。1組でも2組でも子ども食堂に来てくれて、ゆっくりと食事をしてもらい、その方たちに何か残るならそれだけでいいか。と思い活動をしている。夫婦や子どもの状態や変化を見守るのも子ども食堂をしている理由の1つである。

### ◎感想

他の子ども食堂と比べると、お父さん、お母さんに向けた思いが多いことが印象的だった。「食事に時間がかけられない親子にゆっくりとした時間を過ごしてほしい。」という考えも他の子ども食堂にはあまりみられない考え方で、子ども食堂にもいろいろな形が存在することを知ることが出来た。誰か1人でも喜んでくれれば、子ども食堂をしている意味がある。という考え方はすてきな考え方だと思った。

 **子ども食堂**  
**なかよしごはんのご案内**

仕事、家事、子育てのめまぐるしい毎日頑張っている  
お父さん、お母さんへ

「美味しい」「嬉しい」「楽しい」  
食卓を準備しています。

お子さんと一緒にお越し下さい♪

※子ども食堂「なかよしごはん」は子どもだけでも入れます。



**ある日のメニュー**



旬の野菜の煮物 旬の野菜のサラダ 果物  
ホカホカご飯 真心こめたハンバーグ 天然だし汁物

アレルギーなど気になることがありましたら、お気軽にご連絡・ご相談ください。



六事町交差点 1番線  
江川線  
船方駅  
船方小学校  
船方保育園  
正門  
船方  
船方公園  
船方公民館  
船方小学校

主催 子ども食堂「なかよしごはん」ボランティアの会

ホームページはじめました！！  
<https://nakayoshigohan.webu.jp/>



日時 毎月7日、17日、27日の午後5:30～7:00  
(申込みの締切は、当日の午後3:00です。)

場所 はやみずさんの台所  
名古屋市長久区六番二丁目7-6

対象 幼児～中学生  
(※幼児はかならず兄弟か大人といっしょにね)  
(※保護者の方も、どうぞお越し下さい)

参加費 300円 (幼児は200円)

申込み 開催日(毎月7、17、27日)の午後3時まで  
お電話でご連絡ください。  
電話 052(651)0924 速水(はやみず)  
携帯電話080-1606-9385

(裏面に続く)